

高床山 (新井市)

■環境：森林、低山
 ■対象：家族
 ■期間：4月下旬～
 6月下旬

新井市街の南部、高床山の中腹に広がる73haの森林公園。キャンプ場、バンガロー、テニスコート、食堂、広場があり、頸城平野の眺望もよい。雑木林を中心とした林相の中で低山の鳥たちの観察が楽しめる。

<雑木林周辺の鳥たち>

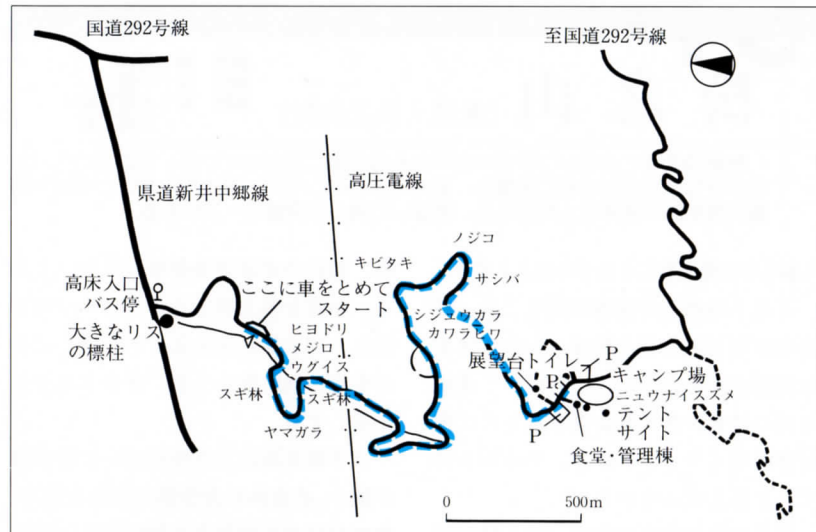
高床山森林公園は、新井市の南、中郷村と接する高床山の中腹にある。キャンプ場をはじめフィールドアスレチック、テニスコートなどがあり、その一帯はコナラ、トチノキなどの雑木林と水田などのある典型的な里山である。林道からキャンプ場までのコースを歩いてみよう。

県道新井中郷線（旧国道18号線）を中郷方面に向かって、大きなリスの標柱を目印に左折して林道に入る。林道

のわきを流れる川に小さなダムがあり、そのあたりは、林道がやや広がっている。ゆっくり林道を登ると、ヤブからウグイスの「ホーホケキョ」、上空では「キリキリコロコロ」とカワラヒワ、さらにハシボソガラス、ヒヨドリ、メジロたちが騒がしく鳴きながら目の前を横切っていく。そのうち「ギーッ」と一声コゲラも現れ、雑木林の鳥たちは私たちに飽きさせない。



コナラ林の広がるキャンプ場



<頸城地方の春の声・ノジコ>

やがて雑木林が部分的に途切れ、低木林のヤブと水田が現れてくると、ここはノジコのすみかである。ホオジロより少し張りのあるその声は緑の中で際立って美しい。ホオジロに比べ目立つことがきらいと見え、その姿は見付けにくい。少し緑がかった腹の黄色はとて鮮やかである。道を登るにつれ、だんだん視野がひらけ、少し急こう配になってくると上昇気流を生じる地形となり、サシバ、ハチクマなどの猛禽類や尾根から尾根へ飛ぶサンショウウイが姿を現してくる。谷からはオオルリ、林からキビタキの声が聞こえ、シジュウカラ、ヤマガラの競うような歌を全身に浴び、少々疲れながらも十

分楽しんでキャンプ場に到着ことになる。さらに、キャンプサイト周辺では、巣箱に営巣したニュウナイスズメを観察することもできる。里山の鳥たちの姿と声をたっぷり楽しんでほしい。

(末崎 朗)

■メモ

交通 JR新井駅下車。二本木関山方面行きバス12分「高床入り口」下車。徒歩1時間。

☐ キャンプ場付近に多数駐車可。探鳥会は特に行われていない。

周辺の見どころ キャンプ場付近には、テニスコート、フィールドアスレチック、広場などがあり、家族連れで楽しめる。また、展望台からは頸城平野が一望できる。